

安全データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 製品名 | : ソルトリック肥育塩 |
| 会社名 | : 共立製薬株式会社 |
| 住所 | : 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-5 |
| 担当部門 | : 品質保証部 |
| 電話番号 | : 03-3264-7196 |
| メールアドレス | : hinshitsu@kyoritsuseiyaku.com |
| 想定される用途及び当該用途における 使用上の注意 | : 飼料 |

2. 危険有害性の要約

| | |
|---|--------------|
| GHS 分類 | |
| 物理化学的危険性 | |
| 引火性固体 | : 区分に該当しない |
| 自然発火性固体 | : 区分に該当しない |
| 健康に対する有害性 | |
| 急性毒性（経口） | : 区分に該当しない |
| 急性毒性（経皮） | : 区分に該当しない |
| 急性毒性（吸入・粉じん、ミスト） | : 分類できない |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : 区分に該当しない |
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | : 区分 2B |
| 呼吸器感作性 | : 分類できない |
| 皮膚感作性 | : 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない |
| 発がん性 | : 分類できない |
| 生殖毒性 | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性、単回ばく露 | : 区分 2（神経系） |
| 特定標的臓器毒性、反復ばく露 | : 区分 2（全身毒性） |
| 誤えん有害性 | : 分類できない |
| 環境に対する有害性 | |
| 水生環境有害性 短期（急性） | : 区分に該当しない |
| 水生環境有害性 長期（慢性） | : 区分に該当しない |
| オゾン層への有害性 | : 分類できない |
| GHS ラベル要素 | |
| 絵表示またはシンボル | |
|  | |
| 注意喚起語 | : 警告 |

| | |
|---------|---|
| 危険有害性情報 | <ul style="list-style-type: none"> : 眼刺激 : 臓器の障害のおそれ（神経系） : 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（全身毒性） |
| 注意書き | |
| 【安全対策】 | <ul style="list-style-type: none"> : 取扱後は手をよく洗うこと。 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 : 製品を使用する時は飲食又は喫煙をしないこと。 |
| 【応急措置】 | <ul style="list-style-type: none"> : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。さらに、眼の刺激が続く場合は、医療処置を受けること。 : ばく露またはその懸念がある場合は、すぐに救急の医療処置を受けること。 : 気分が悪い時は、診察を受けること。 : 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要に応じて医療処置を受けること。 : 皮膚に付着した場合；直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医療処置を受けること。 : 飲み込んだ場合：直ちに水で口の中を洗浄すること。必要に応じて医療処置を受けること。 |
| 【保管】 | : 施錠して保管すること。 |
| 【廃棄】 | : 内容物、容器を国または都道府県・市町村条例などの規則に従って廃棄すること。 |

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

| 成分名 | 含有量 |
|---------------------|-------|
| 塩化アンモニウム | 9～10% |
| ビタミン D ₃ | 非開示 |
| ビタミン E | |
| 食塩 | |
| パン酵母 | |

| 成分名 | CAS 番号 | 化管法 | 安衛法 |
|----------|------------|-----|---|
| 塩化アンモニウム | 12125-02-9 | 非該当 | <p>■表示および通知義務</p> <p>政令番号：別表第9の96</p> <p>政令名称：塩化アンモニウム</p> <p>含有率1%以上</p> |

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける。 |
| 眼に入った場合 | : 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し洗浄する。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 直ちに水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の診断、手当てを受ける。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|---|
| 消火方法 | : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 消火活動は風上から行う。 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。 |
| 適切な消火剤 | : 水、泡、粉末、炭酸ガス |
| 使ってはならない消火剤 | : 特に情報なし |

6. 漏出時の措置

| | |
|--------------------------|--|
| 人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置 | : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。 |
| 環境に対する注意事項 | : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収、中和 | : 飛散したものは、掃き集めて空容器に回収する。漏洩した場所は、多量の水を用いて洗い流す。 |
| 二次災害の防止策 | : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

技術的対策 : 皮膚に付けないように適切な保護具を着用する。

注意事項 : 用途以外の使用は避ける。

保管上の注意事項

保管条件 : 高温、多湿及び雨等の水に濡れる場所での保管は避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 : データなし

許容濃度 : データなし

保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスクを着用する。必要に応じて防じんマスクを着用する。

手の保護具 : 保護手袋を着用する。必要に応じて耐溶剤性手袋を着用する。

眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。必要に応じてゴーグル型または保護面等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 塩化アンモニウム含有固形塩

密度 : 2000 kg/m³

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の手扱いは安定である。

危険有害分解生成物 : 特に情報なし

避けるべき条件 : 特に情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口） : 本製品の成分は、区分4および区分に該当しない成分が含まれているが、加算式により計算した結果、区分に該当しないとした。

急性毒性（経皮） : 本製品の成分は、区分に該当しないおよび区分に分類できない成分が含まれているが、加算式により計算した結果、区分に該当しないとした。

急性毒性（吸入・粉じん、ミスト） : 十分なデータがなく、分類できないとした。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 本製品の成分は、区分に該当しないおよび区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。

| | |
|------------------|---|
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | : 本製品の成分は、区分 2B の成分が含まれており、含有量に基づき区分 2B とした。 |
| 呼吸器感作性 | : 十分なデータがなく、分類できないとした。 |
| 皮膚感作性 | : 十分なデータがなく、分類できないとした。 |
| 生殖細胞変異原性 | : 十分なデータがなく、分類できないとした。 |
| 発がん性 | : 十分なデータがなく、分類できないとした。 |
| 生殖毒性 | : 十分なデータがなく、分類できないとした。 |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | : 本製品の成分は、区分 2 および区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分 2（神経系）とした。 |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | : 本製品の成分は、区分 1 および区分に分類できない成分が含まれているが、含有量に基づき区分 2（全身毒性）とした。 |
| 誤えん有害性 | : 十分なデータがなく、分類できないとした。 |

12. 環境影響情報

| | |
|----------------|--|
| 水生環境有害性 短期（急性） | : 本製品の成分は、区分 3 および区分に該当しない成分が含まれているが、含有量に基づき区分に該当しないとした。 |
| 水生環境有害性 長期（慢性） | : 本製品の成分は、区分に該当しない成分が含まれており、含有量に基づき区分に該当しないとした。 |
| オゾン層への有害性 | : 十分なデータがなく、分類できないとした。 |

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合には、都道府県又は市町村条例等に従い処分すること。

14. 輸送上の注意

| | |
|--|-----------------|
| 国連番号 | : 非該当 |
| 国内規制（適用法令） （陸上・海上・航空規制） | : 特段の規制なし（非危険物） |
| 容器が破損しないように充分注意するとともに、破損や漏出がないことを確認する。 | |

15. 適用法令

| | |
|------------------------|--|
| 飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律 | : 牛用塩・ビタミン混合飼料 A 飼料 |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物 : リスクアセスメント対象物（法第 57 条の 3） 塩化アンモニウム 別表第 9 の 96 （含有率 9～10%） |
| 消防法 | : 非該当 |
| 化学物質排出把握管理法 | : 非該当 |

16. その他の情報

【引用文献】

- ・ 自社データ
 - ・ 安全衛生情報、GHS 対応 モデル SDS 情報
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) 化学物質総合情報提供システム
-